

12月10日(金)開催 (山直北校区)

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
1	<p>色々えらそうな事を言ってますみませんでした。 岸和田の特徴を活かせる用な教育を。 子どもたちが増える街にしたいです。 意見や思いを聞いていただき、ありがとうございました。</p>	<p>子どもたちのより良い教育環境の整備と学校教育の充実のために、今後も様々な施策に取り組みます。</p>
2	<p>・地域にあったものがなくなる、地域を構成するものが1つかけて、その世代が昼間の時間からいなくなるのはさびしいですね。 ・小学校は統合され、その後の場所は具体的に何に使うんですか？たたき台だからまだ考えてないのですか？</p>	<p>学校は、教育施設としてだけではなく、防災や地域コミュニティの拠点としての役割を果たしてきたことから、適正化により使用しなくなる学校施設は、今後、地域の方々のご意見も踏まえ、幅広い視点から有効に活用される方策を検討します。</p>
3	<p>・適正化の説明はありますが、デメリット予測されているのでしょうか。説明するなら両面が必要だと思います。 ・校区が拡大されること登下校時間がのび、通学時のリスクが増えます。地域の見守りも減ります。スクールバスを導入すれば費用負担が発生します。税金が投入されるため既に試算はされているはず。示してほしいです。住所地より不公平感が出ると考えられ、コース設定についても住民の意見は反映させてもらいたいです。意見を聴く場を設けて下さい。 ・スクールバス、自転車等の利用には家庭の負担も大きくなります。 ・支援が必要な子どもへの配慮、保護者への適切な支援ができるよう教員配置して下さい。 ・コロナ等感染対策を行う意味でも山直北小学校は大規模化させすぎるのではと思います。 ・小中一貫校のメリットが本当に岸和田市でも活かせるのか、本当に一貫化することでいじめや不登校といった現存の課題にメリットがあるのか疑問です。 ・子育てしやすい町岸和田をうたっているのに地域から学校を減らすのは矛盾しています。地域活性化のための人口流入が見込めず未来に希望のない地域づくりになってしまうと思う。 ・学校舎の建替や増築に追われながら、マンモス校で卒業していく子どもたちは不遇すぎると思います。 ・「意見を参考にする」と言うだけで計画どおりに進めるのはやめて下さい。</p>	<p>・学校の再編により、通学環境や学習環境に変化が生じることは必然であり、また、地域のコミュニティ活動の場や避難所機能にも影響が及ぶため、地域・保護者の皆様が様々なことについて不安に思われることについては理解いたします。良好な通学環境及び学習環境を保障することは教育委員会の責務であり、適正化の際も必要な対策を適切に講じるとともに、地域コミュニティや避難所機能のあり方についても、市長部局とともに適切に対応していきます。その他、地域・保護者の皆様が不安に思われる点については十分にお伺いし、その解消に努めていきます。なお、スクールバスの具体的な運用については、他の地域との均衡にも配慮しながら、今後、(仮称)学校開校準備委員会等において、地域・保護者の皆様のご意見も踏まえつつ、決定していきます。スクールバスの費用については、他市の事例では、1台につき年間約700万円～800万円程度であることを確認しています。 ・支援が必要な児童生徒については、適正化後も介助員・支援員の配置を進めるとともに、切れ目のない一貫した支援を行います。 ・新型コロナウイルス感染症の感染リスクについて、学校規模の大小が相関しているといったエビデンスは確認されていません。感染対策については、学校の規模に関わらず、すべての学校において、国や府のガイドラインに基づき、今後も適切に対応していきます。 ・小中一貫校における効果的な小中一貫教育の取組については、今後も他市の好事例を多く視察・研究するとともに、「岸和田市小中一貫教育推進会議」において、引き続き検討していきます。 ・子育てしやすい町岸和田をうたっているのに地域から学校を減らすのは矛盾しているのではというご意見について、子育て世代に岸和田市を選択してもらうには、教育環境や保育環境の充実が重要であることは多くの皆様が賛同するところだと考えます。その一方、市民の皆様には様々な考え方があり、それぞれの立場、学校との関係、地域との関係がある中で、教育環境や保育環境の充実策について意見が分かれるのは当然のことだと考えます。教育委員会としては、児童生徒の減少が今後も見込まれる中、現在ある学校の数をそのまま維持するのではなく、児童生徒の集団規模が確保された教育環境の整備をすることが魅力ある学校づくりにつながるものと考えており、そのためには、適正規模・適正配置の取組は不可欠であると考えています。 今後も、地域・保護者の皆様と十分な説明を話し合いを重ね、より良い計画の策定に努めていきます。</p>